

「食」と「農」の再生プラン

消費者に軸足を移した農林水産行政を進めます。

農林水産省

農業の構造改革を加速化

意欲ある経営体が躍進する環境条件をつくります。

経営の法人化で拓く構造改革

ビジネスチャンスを活かそうとする新規就農者や法人経営・集落営農への支援を行います。農業経営の株式会社化等により多面的戦略の展開を図ります。
また、農協系統組織の改革を促します。さらに、先端的農業経営を支える研究開発を高度化します。農地法の見直しに着手します。

米政策の大転換

米など水田農業の構造改革を加速するため、総合的に施策のあり方を検討します。

構造改革に伴うセーフティネットの創設

水田農業の改革と整合性をもった経営所得安定対策のあり方の結論を提示します。

農山村地域の新たな土地利用の枠組み構築

法律による諸規制から市町村主体の枠組みへの移行を検討します。

食の安全と安心の確保

消費者第一のフードシステムを確立します。

食の安全と安心のための法整備と行政組織の構築

消費者保護を第一に予防原則を含むリスク分析の考え方を踏まえ、関連する法制度の抜本的な見直しと新たな食品安全行政組織の構築に取り組みます。

「農場から食卓へ」顔の見える関係の構築

- トレーサビリティシステムの15年度導入 -

食卓へ生産情報を届けるトレーサビリティシステムを導入し、これを実効あるものとするためのJAS規格など法制化を検討します。

「食の安全運動国民会議」の発足

- みんなで考える「食育」と「リスクコミュニケーション」の推進 -

食のリスクに関する徹底的な調査と情報開示や、「食の安全月間」を設けることにより共通理解を醸成し、リスクコミュニケーションに努めます。また、消費者が食の安全性など自らの食を考える国民会議を発足させます。

JAS法改正で食品表示の信頼回復

わかりやすく信頼される表示制度を実現します。さらに、不正を見逃さない消費者を含めた監視体制を整備するとともに、虚偽表示に対する公表やペナルティを強化します。

新鮮でおいしい「ブランド日本」食品の提供

食文化・地産地消の特色を活かした「ブランド日本」農水産物を供給し、生産・流通を通じた高コスト構造を是正します。

都市と農山漁村の共生・対流

人と自然が共生する美の国づくりを進めます。

都市と農山漁村で行き交う「わがふるさと」づくり

都市と農山漁村で交流できるライフスタイルを実現します。

「e-むらづくり計画」の推進

ITを活用した農業経営、都市と遜色ない情報基盤（プラットフォーム）を実現します。また、集落再編による新しいコミュニティづくりを進めます。

地球にやさしい生物エネルギー・資源の有効利用

ゼロ・エミッション（廃棄物等を循環活用する取組）を実行します。

「美しい自然と景観」の維持・創造

自然再生のためのプロジェクトを推進するとともに、自然のリスクから守られた農山漁村を形成します。

食と農と美の国づくりに向けた「食農一環」政策